

「ささら獅子舞」

松伏町指定無形民俗文化財
昭和50年6月1日指定

旧松伏村の村社であった松伏神社（田中）に伝わるささら獅子舞は、氏子らによりささら獅子舞保存会が結成され、上演、継承活動が行われています。

元々は松伏神社（香取神社）に合祀された八幡神社に伝わったものと言われ、正保3年（1646）の「ささら獅子舞の免許状」（松伏町指定有形文化財）が残されています。獅子は三匹で、太夫獅子、中獅子、小（女）獅子からなり、数名の囃子方、謡を歌うもの、4名の花笠が付きます。松伏神社の夏の例大祭（7月15日に近い日曜日）で五穀豊穡、悪疫退散を願って行われるほかに、8月15日、16日には、それぞれ宝珠院（松伏町田中）、静栖寺（松伏町田中）で施餓鬼法要のためにも行われます（現在は15日のみ）。町民文化祭などのイベントへの出演も行っています。



松伏神社例大祭での様子